

O-kuma認知症ケアサポート通信

3つのロックとケアのポイント



こんにちは！DST委員会です。
認知症予防で学んだことを
少しずつ提供できればと思い始めました。
みなさんの疑問や関心に応えていきたいと
思います。
ぜひお読みいただければ嬉しいです！



三つのロックの身体拘束を最小化するには…

①三原則アセスメント

→身体的拘束を第一にせず代替案がないかカンファレンスを行う

②患者様と対話

→行動理由を探り、説明し協力を得る

③身体的拘束の現状を知りチームで共通の認識を持つ

→身体的拘束が不要となるよう、身体機能の回復に努める

DST Drのひとりごと

最近インフルエンザの流行が
騒がれていますね。

ウイルス感染後に認知症が進
行することはコロナウイルス
の時にも問題になっていました。

Age and Ageing誌で報告さ
れた2025年の論文では、基
礎疾患のある認知症高リスク
患者ではワクチン接種を2回
行うと、発症リスクの低減が
示唆されています。

患者様への情報提供と予防接
種をすすめてあげてください
ね。スタッフの皆さんも流行
にはお気を付けてください。



「誰のための安全なのか」
自分たちの行動を振り返り、立ち止まって
みんなで考えていきましょう！
DSTラウンドでは身体抑制で困っていることなど
相談に乗ることができますので各部署のDST委員へ
ご相談下さい！！